



地震防災フォーラム 2021

— 関西地震観測研究協議会 30 周年記念講演会 (WEB 開催) —

主 催：関西地震観測研究協議会 (関震協・CEORKA)

協賛(予定)：(公社) 土木学会関西支部/ (公社) 日本地震学会/ (公社) 地盤工学会関西支部/
(一社) 日本建築学会近畿支部/ (公社) 日本地震工学会/
(一社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部/ 関西ライフライン研究会/
特定非営利活動法人 リアルタイム地震・防災情報利用協議会

後援(予定)：(一社) 日本建築構造技術者協会関西支部

日 時：2021 年 9 月 15 日 (水) 午後 1 時から午後 3 時 30 分 (終了予定)

場 所：オンラインで実施

《趣旨》

関西地震観測研究協議会は発足 30 年を迎え、地震観測もほぼ継続して行われてきた。発足時は寡少だった強震観測点も全国規模の観測網の展開により、高密度な震動情報が得られるようになってきた。一方、地震動は地盤の影響を強く受けるため、同一地点での継続観測が求められる。こういった背景のもと、協議会方式の観測網維持や観測記録を使った研究事例を踏まえ、強震観測のあり方や活用方法、将来展開について意見交換を行う。

《プログラム》

- 13:00~13:05 開会挨拶 岩田知孝(関震協座長・京都大学防災研究所)
- 13:05~13:35 歴代座長からメッセージ (1名5分×6名)
- 15:35~16:05 関西地震観測研究協議会の強震観測体制の変遷と今後の展望
赤澤隆士(関震協事務局・一般財団法人地域地盤環境研究所)
- 16:05~16:35 阪神高速道路における地震観測記録の活用
服部匡洋(一般財団法人阪神高速先進技術研究所)
- 16:35~16:45 長周期応答 WG の活動と大阪平野の長周期地震動
上林宏敏(関震協長周期応答 WG 主査・京都大学複合原子力科学研究所)
- 16:45~16:50 関西地震観測研究協議会の将来像
岩田知孝(関震協座長・京都大学防災研究所)
- 16:50~17:00 意見交換
- 17:00~17:05 閉会挨拶 向井洋一(神戸大学大学院)

■参加費：無料

■お申込み・お問合せ先：関西地震観測研究協議会事務局 担当：高田

(E-Mail: takada@geor.or.jp FAX: 06-6941-8882)

{氏名/所属/電話番号/FAX 番号/E-Mail アドレス} をご記入の上

E-Mail もしくは FAX にてお申込み・お問合せ下さい。※当日申込みも承ります。

～諸事情により内容が変更される場合もあります。ご容赦ください～